

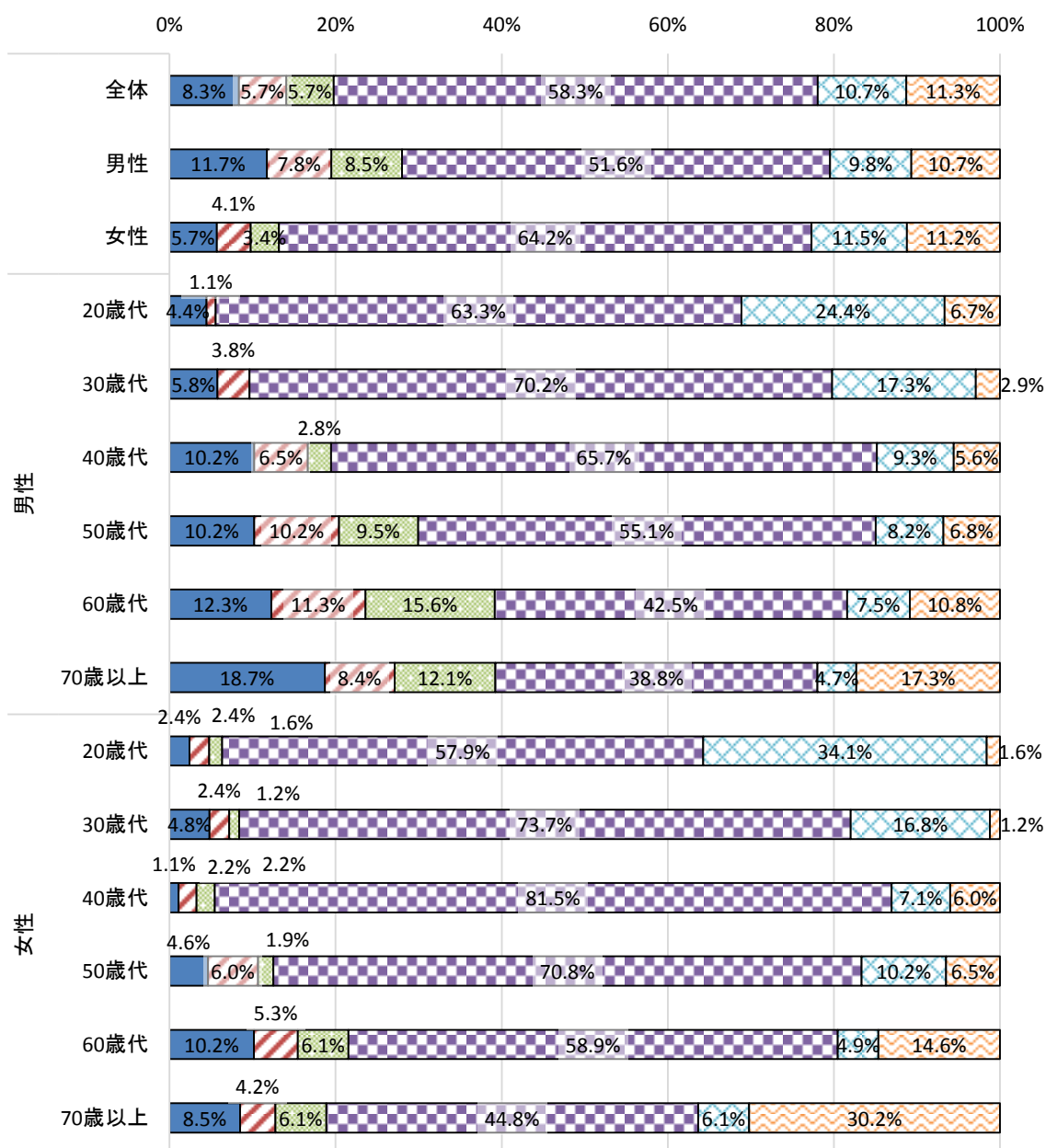
9. 糖尿病について

問 33 あなたは、健診などで糖尿病についてどのような状況だと言われていますか。

(SA)

全体では 19.8%が「これまで健診等で血糖値が高いと言われたことがある」、「糖尿病の気(け)がある・糖尿病予備群と言われた」、「糖尿病と診断された」と回答している。

男性は 28.0%で 4 人に 1 人が高血糖の状態である。また、男性では年代が上がるほど高血糖の割合が高くなり、全年代で女性より高血糖の割合が高い。

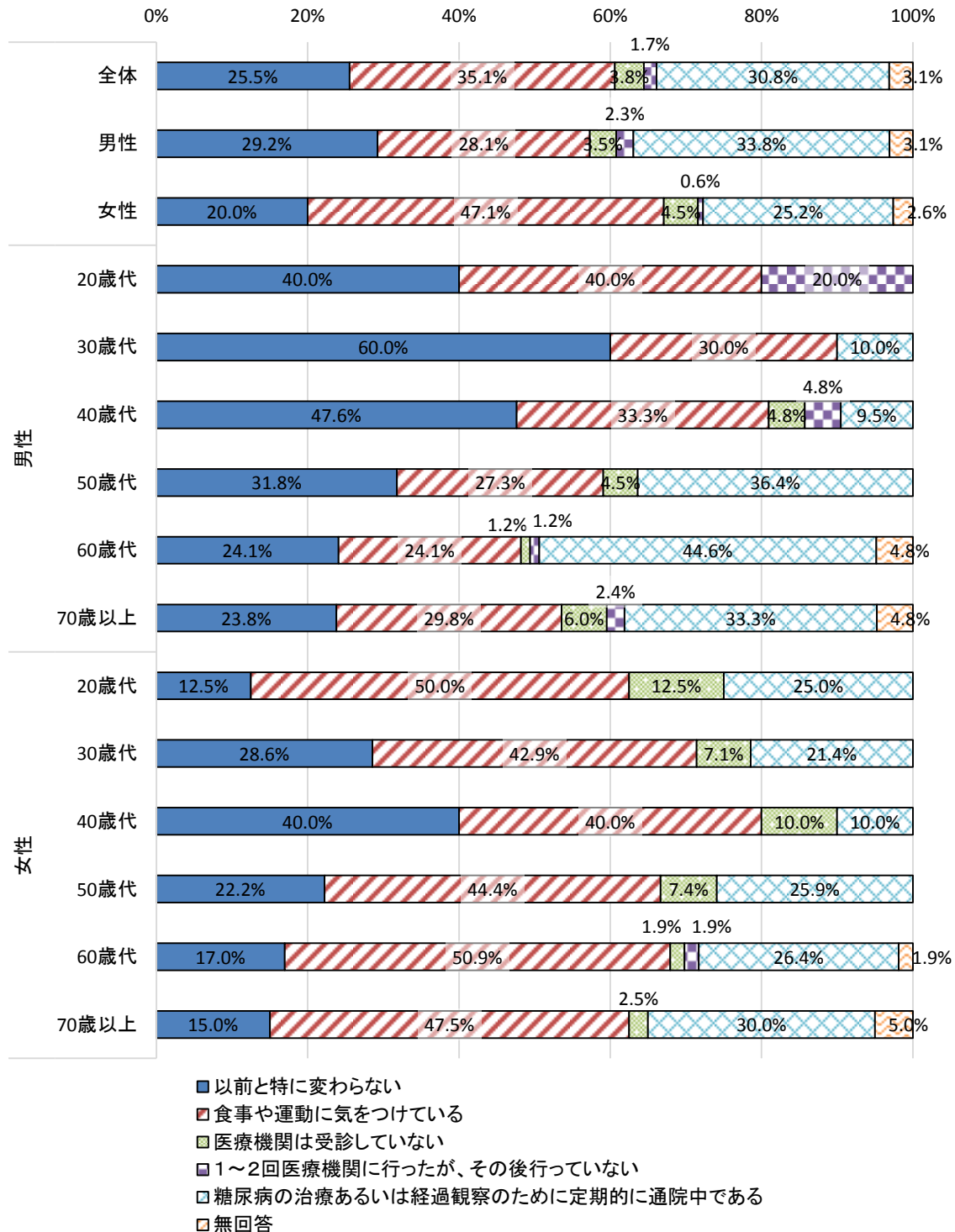


- これまで健診等で血糖値が高いと言われたことがある
- 「糖尿病の気(け)がある」「糖尿病予備群」と言われた
- 糖尿病と診断された
- 血糖値が高いと言われたことはない
- 健診等受けたことがないので、わからない
- 無回答

問 33-2 血糖値が高いと言われたり、受診を勧められてから、現在どのような状況ですか。

(SA)

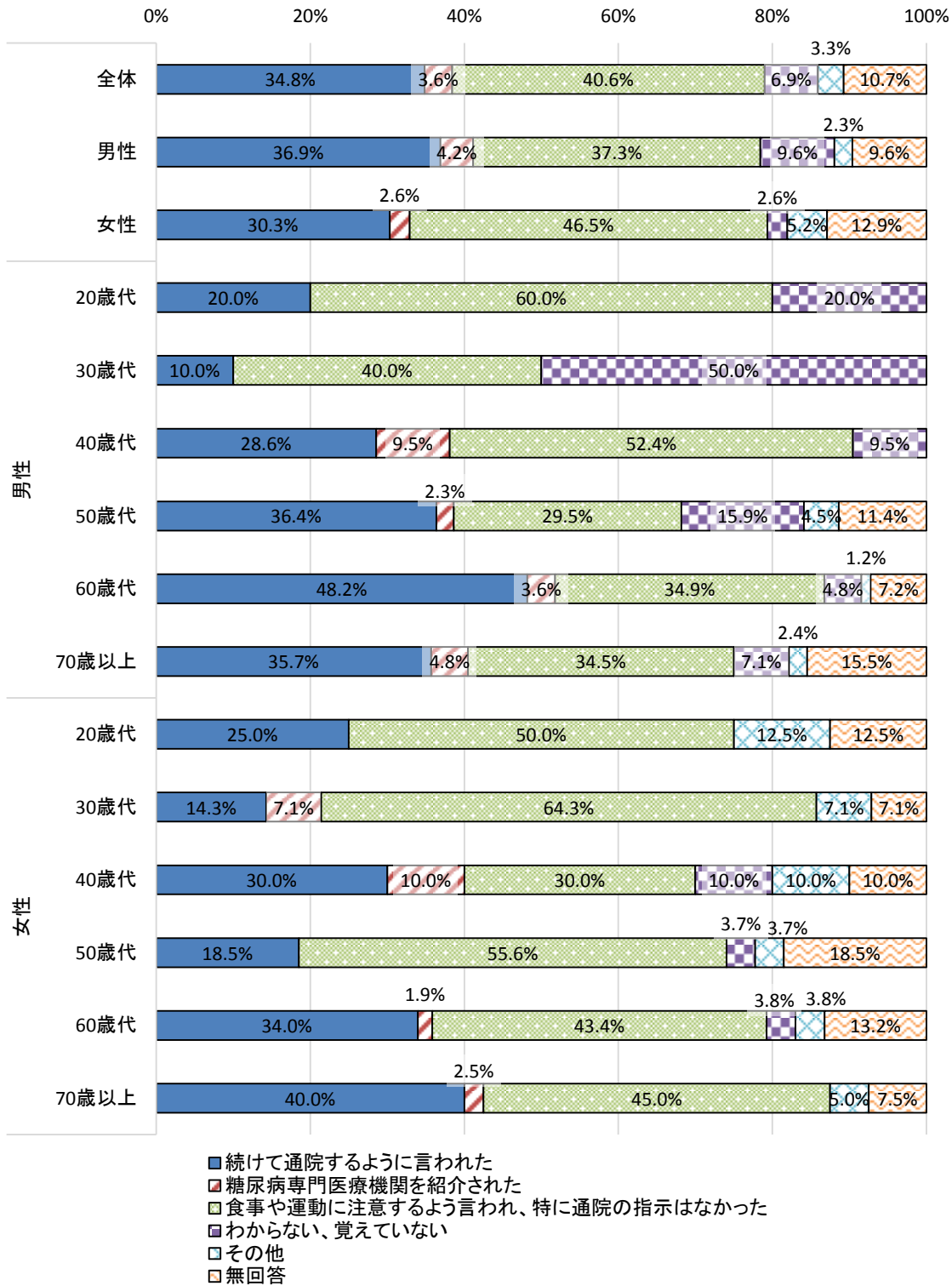
全体では血糖値が高いと言われたり、受診を勧められてから、「食事や運動に気をつけている」が 35.1%、「糖尿病の治療あるいは経過観察のために定期的に通院中である」が 30.8%、「以前と特に変わらない」が 25.5%となっている。男性は「糖尿病の治療あるいは経過観察のために定期的に通院中である」が 33.8%で最も高く、女性は「食事や運動に気をつけている」が 47.1%で最も高い



問 33-3 医療機関では、どのような指示がありましたか。

(SA)

全体で「食事や運動に注意するよう言われ、特に通院の指示はなかった」が40.6%、「続けて通院するように言われた」が34.8%、「糖尿病専門医療機関を紹介された」が3.6%となっている。



問 34 糖尿病の合併症や重症化予防には、定期的な受診による血糖コントロールが重要ですが、平成23年度熊本県健康づくりに関する意識調査によると、高血糖を指摘され定期的に通院している方が4割、6割の方が定期的な受診をされていませんでした。定期的な通院ができない理由は何だと思いますか。通院されていない方も通院するとしたらどのようなことが考えられるかでお答えください。

(MA)

「通院の時間が取れない」が37.9%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」が31.0%、「調子が良く、症状がないので通院を続ける必要性を感じない」が27.7%であった。

